

診断書（聴覚障害）

この診断書は、修学上・生活上の合理的配慮を考えるための資料です。

氏名			生年月日 西暦 (S · H) 年 月 日
住所	〒		
診断名	英語表記も記載してください。		
障害の状態	身体障害者手帳	無 有 (級、取得：西暦 (S · H · R) 年 月 日)	
	補聴機器	【右耳】 補聴器・人工内耳・装用なし	【左耳】 補聴器・人工内耳・装用なし
	コミュニケーションモード	音声 ・ 読話 ・ 筆談 ・ 手話 ・ 指文字 その他 ()	
	障害の状態について、参考となる経過・現症・特に必要となる検査結果を記入してください。 (母音、子音、高音、低音の聞き取りや、雑音下の聞き取り、補聴器の装用効果等も含む) 合理的配慮に関する困難と必要な配慮について、別紙に記載してください。 オーディオグラムを必ず添付してください(その他に配慮を考える上で、必要だと考えられる検査結果(語音弁別検査等)があれば、添付してください)。		
検査結果等	検査名称 検査結果を添付してください(実施日は、原則として申請時の3年以内)。 ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日) ・ (実施日：西暦 (R) 年 月 日)		
診断者	上記の通り診断する。 西暦 (R) 年 月 日 医師名 (印) (診療科名) 医療機関名・所在地・電話番号		

別紙 修学上・生活上の困難とそれに対する配慮

学生の状況を踏まえ、修学上・生活上の困難とそれに対して必要な配慮項目に○(特に必要な配慮項目は◎)を付けてください。

【記入例】

修学上・生活上の困難 (症状を含む)	
○	音声のみによる正確な情報取得が困難である
○	通院により遅刻・欠席する

場面		必要な配慮
修学		座席の確保：前方・聞き取りやすい座席等
修学	◎	コミュニケーションの配慮：ゆっくり大きく話す・指示語をなるべく使用しない等
修学	○	補聴援助システムの使用

修学上・生活上の困難 (症状を含む)	
	音声のみによる正確な情報取得が困難である
	通院により遅刻・欠席する

場面		必要な配慮
修学		座席の確保：前方・聞き取りやすい座席等
修学		重要情報や注意事項の板書や資料等での視覚的提示
修学		テキストや資料等を参照する場合の視覚的提示：ページ数や内容、読み上げ原稿の提示等
修学		リアルタイムの情報保障：ノートテイクや手話通訳者等の配置・音声認識アプリの使用等
修学		映像・音声教材を使用する場合の情報保障
修学		教室等でのマイクの使用
修学		コミュニケーションの配慮：ゆっくり大きく話す・指示語をなるべく使用しない等
修学		補聴援助システムの使用
修学		遅刻・欠席回の授業内容の提供：授業資料・重要情報の送付等
修学		遅刻・欠席回の学修のレポート課題等での代替
修学		グループワーク等での配慮：人数調整・グループ間の距離の確保・司会進行の明確化・1人ずつの発言・挙手して名乗ってからの発言等
修学		欠席回の発表・試験の別日程による実施やレポート課題等での代替
修学		リスニング試験の課題等での代替
修学		課題提出期限の延長
修学		試験時間の延長
生活		移動に関する環境調整：車道と交差しない歩行帯・車両の接近が分かるミラー等
生活		空間に関する環境調整：手話等でのコミュニケーションしやすい空間・眺めが良く目の疲れを癒す空間等
生活		情報に関する環境調整：ドアのガラス窓・授業開始・非常時を知らせるランプ・学内放送等を文字情報で伝達・字幕解説付き AED 等
生活		災害時個別対応書の作成：避難計画等

上記以外に困難や必要な配慮があれば、具体的に記載してください。

修学上・生活上の困難 (症状を含む)	必要な配慮